

令和8年度 新豊崎中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	87	64	56	2.4	6.0	545
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

◎全国学力・学習状況調査

【国 語】

平均正答率は全国より0.1ポイント高い。問題内容の「読む」分野の平均正答率は全国より+1.9ポイントで、総合的読解力の取り組みを継続してきた成果がでた。しかし、記述式の問題形式では全国平均より2.0ポイント低い。このことから文章を読み取る力はあるがそれを要約して書く力がまだ不足している。今後は、文章を書かせる力を身に付けさせるような指導を行っていく必要があると考えている。

【数 学】

平均正答率は全国より1.0ポイント低い。問題の領域「データの活用・資料の活用」の平均正答率は全国より+5.7ポイントで、ICTを活用して視覚的に捉えやすい授業を行った成果が出ている。しかし、問題の領域の「図形」の平均正答率が全国平均-4.4ポイントで、平面や立方体などの図形の体積や面積の求め方などに関する理解をさらに深めていく必要があると考えている。

【英 語】

「英語4技能」の平均IRTスコアは全国より42ポイント高い。IRTバンドが4以上の割合は全国より+16.8%で主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行った成果が出た。また、技能別正答数集計値では読むこと・書くことが全国平均を0.5ポイント上回っていてスタディサブリ等を利用した日々の課題への取り組みの成果が出たと考えられる。しかし、聞く力・話す力は全国平均+0.1ポイントで、今後リスニングやスピーキング学習にもう少し力を入れていく必要があると考えている。

【生徒質問紙】

「自分にはよいところがありますか」「人が困っているときは進んで助けていますか」の質問に対する最も肯定的な回答が全国平均よりそれぞれ12.3%、25.9%高い。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に対する最も肯定的な割合は全国平均より13.6%高い。

今後に向けて

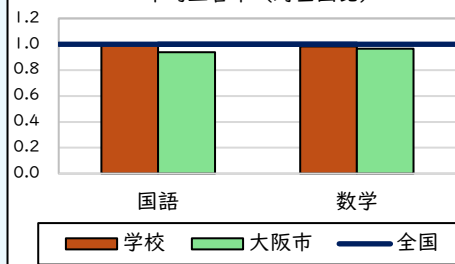
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業への取り組みやICTの活用により全国平均と同等のスコアが出た。しかし、昨年度に比べると国、数の全国平均に対するスコアは下がっており、研究授業による相互授業見学、ティーチングエンパワーメントを利用したSAによる授業助言等を活用してさらに教員の授業力向上に努めるとともに生徒の学力向上に繋げていきたいと考えている。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	64	56
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

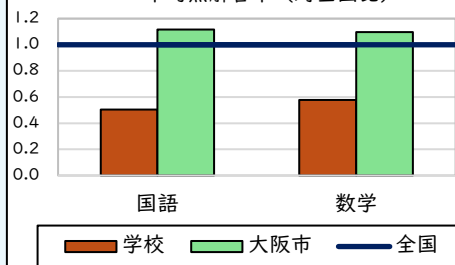
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	2.4	6.0
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

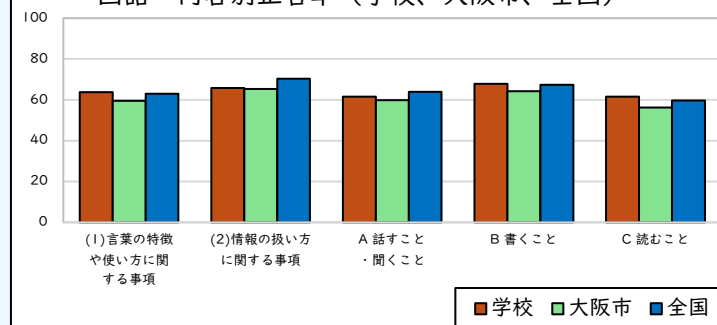
平均無解答率（対全国比）



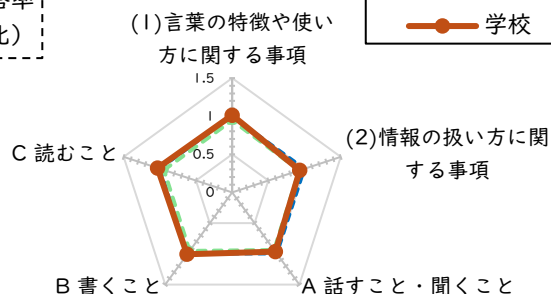
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	63.8	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	65.8	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.6	59.9	63.9
B 書くこと	3	67.9	64.2	67.4
C 読むこと	3	61.6	56.3	59.7

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



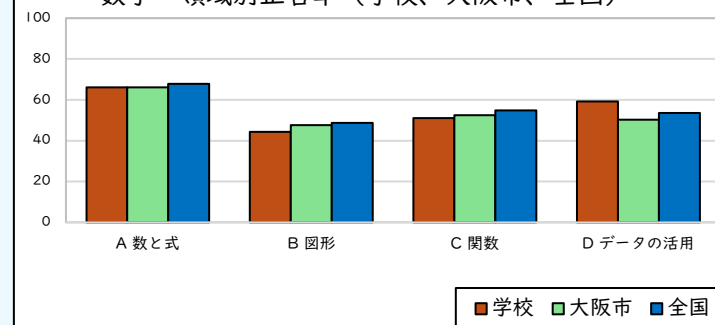
国語
内容別正答率
（対全国比）



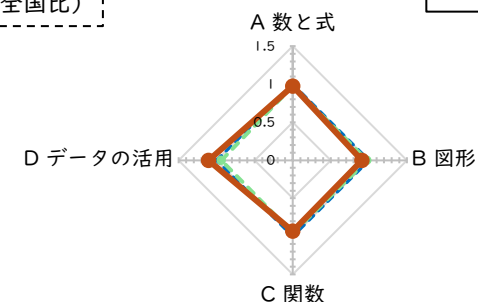
【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	66.1	66.1	67.8
B 図形	4	44.3	47.6	48.7
C 関数	3	51.1	52.5	54.8
D データの活用	4	59.2	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



数学
領域別正答率
（対全国比）



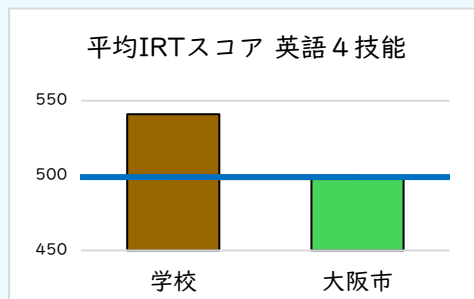
令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	541 (545)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

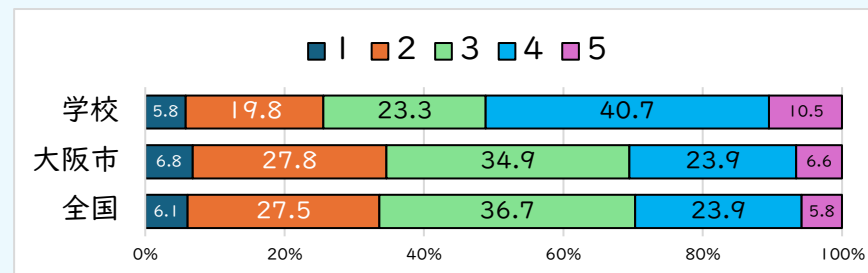
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

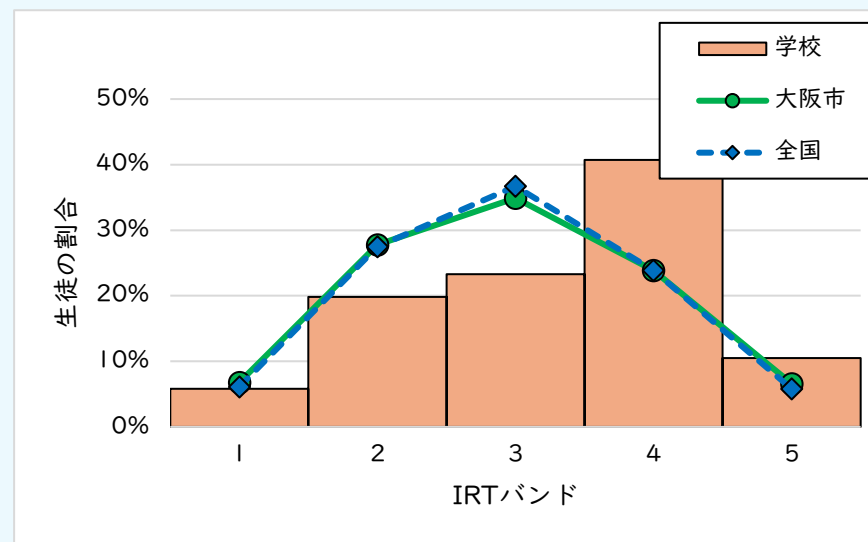
	1	2	3	4	5
学校	5.8	19.8	23.3	40.7	10.5
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	6.1	27.5	36.7	23.9	5.8

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

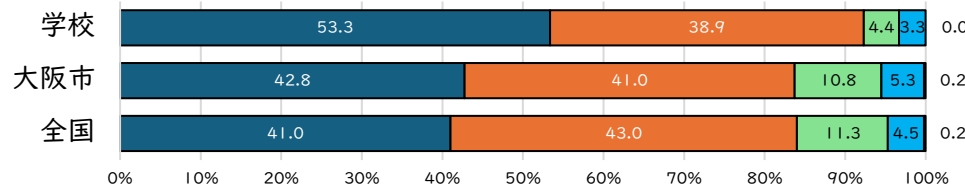
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

(8)

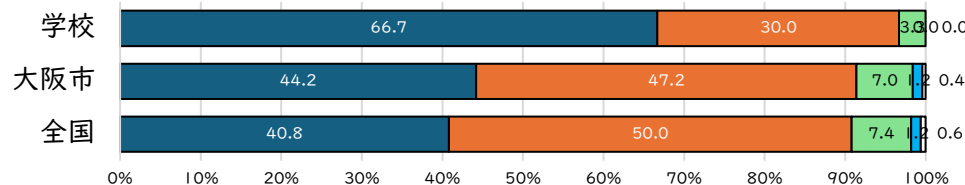
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(11)

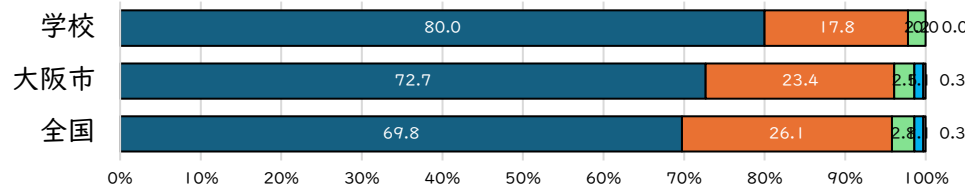
人が困っているときは、進んで助けていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14)

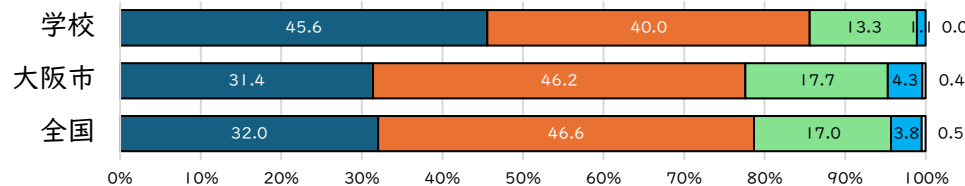
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(16)

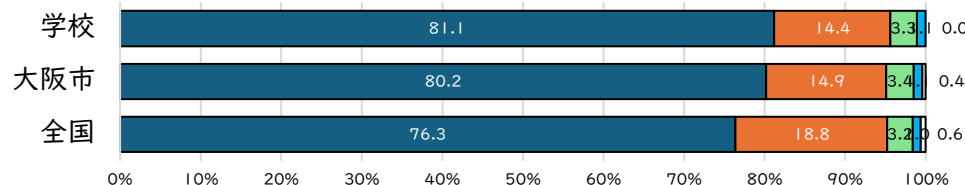
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12)

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号

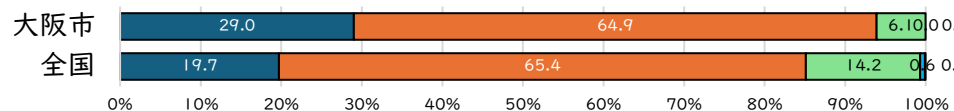
質問事項

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

(7)

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

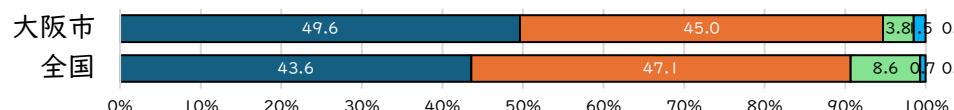


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

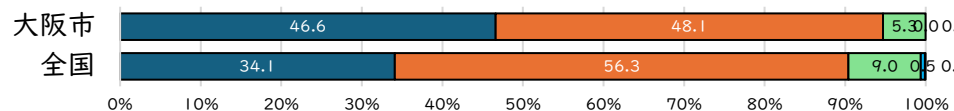


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(9)

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

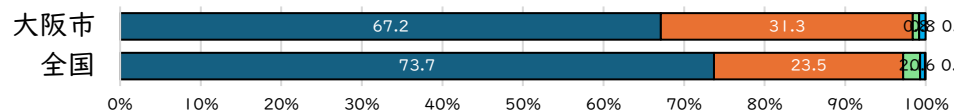


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

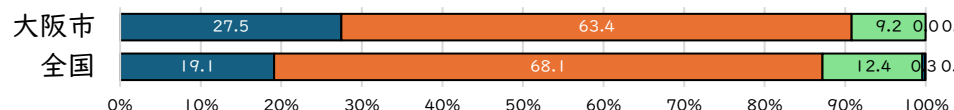


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない